

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	計測制御工学Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0071			科目区分	専門 / コース必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	商船学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	配布教材						
担当教員	小川 伸夫						
到達目標							
1.周波数応答法の意味を理解できる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	周波数応答法の意味を理解でき、応用できる。			周波数応答法の意味を理解できる		周波数応答法の意味を理解できない	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育目標 (B3) 海事技術者としての専門知識							
教育方法等							
概要	この教科では、計測制御Ⅱに引き続き、制御工学の中の周波数応答法を取り上げて学習する。 この授業を受けることで、機械の性質を実験で知る方法を知る。						
授業の進め方・方法	講義形式で行う。						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	周波数応答法の目的		周波数応答法の目的を理解できる		
		2週	フーリエ級数について		フーリエ変換が理解できる		
		3週	フーリエ変換と周波数応答法		周波数応答法を理解できる		
		4週	機械の性質の表し方		ボード線図、ベクトル軌跡を描ける。		
		5週	機械の性質の表し方		ボード線図、ベクトル軌跡を描ける。		
		6週	機械の性質の表し方		ボード線図、ベクトル軌跡を描ける。		
		7週	機械の性質の表し方		ボード線図、ベクトル軌跡を描ける。		
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	試験返却・解答				
		10週	伝達関数の周波数応答		伝達関数から周波数応答を計算できる。		
		11週	伝達関数の周波数応答		伝達関数から周波数応答を計算できる。		
		12週	伝達関数の周波数応答		伝達関数から周波数応答を計算できる。		
		13週	伝達関数の周波数応答		伝達関数から周波数応答を計算できる。		
		14週	伝達関数の周波数応答		伝達関数から周波数応答を計算できる。		
		15週	期末試験				
		16週	試験返却・解答				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	10	40	0	100
基礎的能力	30	0	0	10	40	0	80
専門的能力	20	0	0	0	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0